

LPガスCP情報(2015年10月積み)

1. 10月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **360** ドル (前月比 +45 ドル)

ブタン **365** ドル (前月比 +20 ドル)

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が軟化するなか、LPガススポット市況は堅調に推移した。価格差縮小で米国、アフリカのアーブ玉は減少傾向にあるが、中東各国のスポット供給も潤沢。日韓の引き合いが弱くアジア市場にタイト感はないものの。台湾、ベトナム、中国の需要は堅調。ブタンは米国、オーストラリア玉の流入で需給が緩和しP:B格差は縮小した。CP先物は、第4週末プロパン340 ドル 、ブタン345 ドル に軟化、極東CFR市況もアーブ玉の減少見込みからフレート市況の軟化を受け第4週でプロパン、ブタン420 ドル どころ。成約の中心は10月CPプラス70 ドル 台半ば。ナフサは原油市況に連れ上げ下げ、430~440 ドル 台で推移し、ブタンとの格差縮小でアジアの石化用ブタン需要も弱い。バンカーオイルは原油市況に追随し、初旬は軟化したが、3週以降は230 ドル 台で小動き。9月月間平均は前月比約44 ドル の続落。一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、全米プロパン在庫が過去最高水準まで積み上がったものの18日には6ヶ月ぶりの減少となりプロパン250 ドル どころまで上昇した。NWE(北西ヨーロッパCIF)市況は、第4週に反騰プロパン340 ドル 、ブタンは370 ドル どころに上げている。

10月CPは前年同月比プロパン375 ドル 、ブタン400 ドル のそれぞれ下落。マーケットの当初見込みより10~20 ドル どころ高値設定となった。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	87	88	90	82	87
CP先物指標:P	340	355	345	340	345
CP先物指標:B	360	360	350	345	354

② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは9月45.41 ドル でスタートし、44.00 ドル ~47.15 ドル の狭いレンジで推移した。米国超高水準原油在庫、イラン増産意向、北海の増産など供給超過の懸念があるなか、全米、クッシング原油在庫の減少が続き、北米石油掘削リグ稼働数が4週連続で減少、米原油生産が減少するなど原油市況反騰の場面もみられたが、中国経済減速による需要減退懸念、フォルクスワーゲンの排ガス不正による世界的な株安などリスク回避の動きもあり原油市況は上値が重い展開となった。一方、29日のNYMEXのWTI総取組高は161万枚で前月末比7万枚の減少となったが、大口投機玉の買越残高は22日に25.9万枚と前月比44千枚の増加、売建玉が減少、買建玉が増加、底値固めの動きもみられる。

○9月積みアラビアンライト(9月1~29日)は45.68 ドル (前月比-1.91 ドル)

熱量等価AL100% プロパン374.53 $\text{ドル}/\text{トン}$ ブタン369.39 $\text{ドル}/\text{トン}$

AL比 プロパン96.12% ブタン98.81%

***上記アラビアンライトはEIN推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。**

2. 2015年10月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	121.44	41,000	43,100	-1,600	-3,500
26~25日②	121.29	40,900	43,100	-1,500	-3,400
1~30日③	121.23	40,900	43,000	-1,300	-3,300

*TTS平均は①が8月21日~9月20日まで、②は8月26日~9月25日

③は9月1~30日、①、②、③ともに10月仕切適用。①、②、③いずれも

前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意下さい。